

高知新聞 25日朝刊掲載

障害者駅伝 さわやかな汗

高知市春野町

障害者らがチームを組んで駅伝を楽しむ「第一回県立障害者スポーツセンター駅伝競走大会」が二十四日、高知市春野町で開かれ、きりりと冷えた空気の中、参加者がさわやかな汗をかいてたすきをつないだ。

県社会福祉協議会と県立障害者スポーツセンターの主催。視覚障害者の陸上愛好グループ「クルクル」のメンバーが中継所であつた春野町に



プや農協職員など十八チームが、障害者を含む春野町内ノ谷の農道に二チーム五人で同市

設けた十四歳の周回コースを力走した。

出場した「光の村養護学校土佐自然学園」(土佐市)の生徒たちは、普段から朝のランニングで体を鍛えている。しかし、大会一週間前にインフルエンザにかかった生徒が出たため練習は中止。それでも開会式で選手宣誓した岩崎理江さん(一モ)

は「一人で体育館をぐるぐると走って」この日に備えてきた。

一位のたすきを受けた岩崎さんは順位を一つ落として次の走者につないだ。直後は悔しそうだったが、レース終了後に記録を見て「いいタイム。みんな

で頑張った成績にも満足」と笑顔だった。

同センターの職員は「今後も参加者らの意見を聞きながら工夫して、地元イベントとして続けていきたい」

と話していた。

上位入賞チームと記録は以下の通り。

①高知マックスフラッグ パーズパート1 53分35秒
②高知マックスフラッグ パーズパート2 54分28秒
③光の村A 55分24秒

落木事故の防止を

県管理道路 パトロール強化

吾川郡内の県管理の国道四号で昨年十二月末、沿道の山林から落下した枯れ枝が走行車両を直撃する事故が起き、県は二十四日まで、落木事故防止へ安全パトロールを強化する方針を決めた。

県道路課によると、同月二十四日昼、同郡の町楠瀬で高知市内の男性(65)の乗用車に「長さ三メートル(男性)の枯れ枝が落下、ボンネットやフロントガラスを破損。男性にけがはなかった。現場

今春小学校へ入学する小学生の学校生活の様子や交通定額でもらう(2009年)「2009年」の会を開催します。

2月22日 県民

【日時】2月22日(日) 高知市
【開場】午後1時▽開演 同2時

【会場】県民文化ホール(オレンジ)

【プログラム】吹奏楽演奏(高知西高校吹奏楽部)▽交通安全教室▽映画「一ねんせいになつたら」ド

ラえもん▽ラッキィー抽選会

【入場料】無料(ただし招待券が必要)

【招待券配布先】高知市レイガイドおよび協

後主遠明島金高

場ががが

付ががが

状ががが

ルががが

やががが

断ががが

危ががが

木ががが

をががが

ががが

川ががが

けががが